



# どんぐりルームころころ

令和3年1月7日(木)

尚綱こども園 保育棟 子育て支援室

TEL (096) 338-6111

あけまして、おめでとうございます。2021年がスタートしました。

新たな年を迎え、身が引き締まる思いです。今年も、どんぐりルームで過ごす一日一日が笑顔溢れる日々となりますように♪職員一同、皆さまのお越しをお待ちしております。



月	火	水	木	金
11 ● 成人の日	12	13	14	15 どんぐりルーム スタート！！
← どんぐりルーム冬休み →				
18 	19	20 ※午前保育のため 11時30分に終了	21 どんぐりルームお休み	22 ☆たこ作り
25	26	27	28	29 ☆どんぐり組

## どんぐりルームのご利用について

1日の利用者を10組以下に限定するため、お電話または、どんぐりルームにて利用予約をお受けいたします。1月の予約は、1月8日(金)、2月の予約は1月25日(月)よりお電話にてお受けいたします。初めてどんぐりルームをご利用になる方も、同じくお電話にてお申し込みください。

(電話予約 受付時間) 13時~16時 (電話番号) 096-338-6111 担当: 上原

## どんぐり組さん、募集します♪

来年、尚綱こども園に入園予定のお子さまを対象に、小グループで活動する日「どんぐり組」に参加してみませんか。小さなグループでの活動を経験することで、尚綱こども園での4月からの園生活に期待を持ち、親子が安心して入園する日を迎えることを目的としています。詳しくは裏面をご覧ください。



裏面につづく

☆1月22日(金)

## 「たこ作り」

お正月と言えば、たこあげや羽根つきなど継承されてきた遊びを思い出しますが、現在では、その姿を見かけることも少なくなりました。今回は、その中のひとつ、たこ作りに親子で挑戦しましょう。広いグラウンドに出て、思いっきりたこあげを楽しみましょうね♪

(対象) 2歳以上のお子さま 8組の親子  
(時間) 10時30分より



※予約は、1月12日(火)13時より、お電話にてお受けします。

## 「どんぐり組」

(対象) 令和3年4月より、尚綱こども園年少組・年中組・年長組に入園するお子さま

(活動日) どんぐりAチーム(8組の親子) 1月29日(金)・2月5日(金)・12日(金)  
どんぐりBチーム(8組の親子) 2月26日(金)・3月5日(金)・12日(金)

(持ち物) 自分の持ち物として、リュックまたは手提げバックの中に次の物を入れてきて下さい。準備から親子で取り組むと、「自分の持ち物」としての意識も高まりますよ♪

- ・紐付き水筒
- ・紐付き手拭きタオル
- ・うがい用コップ
- ・外遊び用の帽子
- ・手さげ付きのビニール袋の中に着替え一式(パンツ・下着・洋服上下)



(予約について) 3週続けての活動になります。A・Bどちらとも参加可能な方を優先させていただきます。定員になり次第、振り分けをおこない、後日、参加チームのご案内をいたします。予約は1月15日(金)13時より、お電話にてお受けします。

昨年の12月「あなたの命にありがとう・お母さんにしてくれてありがとう」と題して、どんぐりルームでもお馴染みの相澤先生による講演会が、尚綱こども園遊戯室で行われました。

冒頭から、たくさんの方が目頭をハンカチでおさえる姿が見られ、講演会終了後、保護者の方からのアンケートや感想では、我が子への思いを語る言葉に胸が熱くなりました。

講演会の中で、相澤先生が歌ってくださった古謝美佐子さんの「童神(わらびがみ)」。やさしい三線の音色と、うちなーぐち(沖縄の方言)の子守歌です。わたしは、幼かった子どもたちによくこの子守歌を歌って聴かせていました。

先生の歌う「童神」が、私の気持ちを、その頃の自分に引き戻しました。

子どもたちの笑顔、子育てで思い悩んだ日々。そんな時代を、先生が歌う子守歌が「頑張ったね」と言ってくれているようで…いろいろな事が思い出され、目の前は涙でもう何も見えなくなっていました。

講演会終了後、幼いお子さんを2人育てながら、看護師としてお仕事も頑張っているお母さんがこられました。子育てに不安を抱き、愛おしい我が子への向き合い方に悩んでいる様子。肩をすくめて涙する彼女を、私たちはみんなで「大丈夫」と言って抱きしめました。

仕事をしながらの子育ても、専業主婦としての子育ても、同じ「子育て」です。親として我が子に向けた愛情は、親が仕事を持つ持たないで増えたり減ったりすることはありません。私も同じように子育て中にたくさん不安になったり悩んだりしました。誰かの「大丈夫」と言う言葉に、何度も励まされてきました。

「子どもはね、ちゃんと大きくなるのよ。だから大丈夫。待ってあげてね。見守っていてあげてね。」この言葉は今でもわたしのお守りです。不安になったら、思い悩む日があったら、その思いを誰かに話してみてください。

「子育てはひとりではなくみんなですもの」あなたに寄り添ってくれる誰かが必ずいることを忘れないで下さい。

